

見出し・団体名: <u>おとうとが料理研究家</u>	掲載日: 2010年 2 月 15 日 (月) 30 面	担当: 
記事区分: <u>三田地域・その他地域・登録団体 (No. 9)</u>	掲載新聞: 朝日・読売・毎日・産経・日経・神戸 (朝・夕)	

パパと料理 おもしろいね 27人、ハンバーグに挑戦



力を合わせて、調理する親子 (三田市総合福祉保健センターで)

調理を通して、親子の絆を深めてもらおうと、料理教室「パパといっしょにお料理つくろ!!」が14日、三田市総合福祉保健センター(川除)で開かれ、市内の11組27人が挑戦した。県のわくわく親ひろば事業で、NPO法人「場とつながりの研究センター」が企画した。

三田市

野菜サラダの作り方を指導。子どもたちは先端が丸くなった包丁で、タマネギのみじん切りなどに取り組んだが、中には慣れないため、父親に手助けされる光景もあった。高知県四万十市に単身赴任中で、長女(8)と次女(5)の3人で参加した会社員松口清彦さん(41)(けやき台)は「なかなか会えない娘たちの素顔を見ることができて楽しかった」と笑っていた。

神戸

バレンタインデーはパパと 料理教室に親子27人



ハンバーグなどの作り方を専門家から学ぶ父子ら＝市総合福祉保健センター

ジンを切ったよ。とっても楽しい」と喜んでいました。
(本田純二)

市総合福祉保健センター

おとうとが料理研究家

た。

人権・男女共同参画プラザを運営する「アンタス☆フリット」などが、バレンタインデーを家族で楽しんでもらおうと企画。尼崎市の料理研究家

料理を通して父と子が触れ合う「パパといっしょにお料理つくろ!!」が14日、市総合福祉保健センターで開かれ、市内の親子ら27人が挑戦した。吉田清彦さん(65)が指導。献立は、子どもでも作りやすい煮込みハンバーグと温野菜サラダ。参加者は、包丁の使い方やタマネギのいため方など料理の基礎を教わり、協力しながら、慣れない手付きで調理した。中央町の地方公務員高橋亮さん(34)は「料理の楽しさを教え、子どもの好き嫌いを減らしたい」と話した。長男のひばり君(5)は「ニン